

悲運の女優

ヴィヴィアン・リー

特集

美貌・知性・気品、そして、強い意志——。
誰もが羨むものを兼ね備えながらも、私生活では
病や数々の不幸と戦った悲運の女優。
何十年経っても色あせない彼女の輝きを、
スクリーンでもう一度——。



アンナ・カレニナ



美女ありき

2017.4.21 (FRI) 阿倍野区民センター 小ホール(地下1階)

悲運の女優

ヴィヴィアン・リー 特集

ロシアの文豪・トルストイの長編小説を完全映画化。
青年将校と駆け落ちした人妻アンナの悲劇的な恋を描く。

世界がため息をついた！
世界を沸かせて結ばれた夫婦が熱演！

アンナ・カレニナ

官僚カレニンの妻アンナは才気あふれる魅力的な女性であるが、仕事一辺倒の夫との仲は今ひとつうまくいっていない。

モスクワの兄を訪れたアンナは、駅で義理の妹・キティの婚約者ヴロンスキー大尉と出会う。

ヴロンスキーの必死の求愛は、夫との仲に不満を持つアンナの心を徐々に引き寄せ、ついには家族を捨てて駆け落ちするに至る。

幸せをつかんだかに見えたアンナだが、罪の意識と世間の中傷が徐々にアンナを押しつぶしていく…。

美女ありき

ナポレオンを破ったネルソン提督に、献身的な愛を捧げた婦人エマのロマンス劇。

ナポリのイギリス大使の妻となったエマは、イギリス軍提督のネルソンと出会い、不倫の恋に身を焦がす。

彼女の情熱はやがて妻子あるネルソンを振り向かせる。夫が死んだとき、エマは二人だけの生活を夢見たが、ネルソンはトラファルガー海戦へ出陣していく…。

トラファルガー海戦の英雄ネルソン提督と英国大使夫人レディ・ハミルトンのロマンスを、自身も不倫の末に結ばれたオリビエとリーが演じた。



原作：レフ・トルストイ
監督：ジュリアン・デュヴィヴィエ
出演：ヴィヴィアン・リー
ラルフ・リチャードソン
＜1948年/イギリス/
モノクロ/111分＞



監督：アレクサンダー・コルダ
出演：ヴィヴィアン・リー
ローレンス・オリヴィエ
＜1941年/イギリス/
モノクロ/124分＞

ヴィヴィアン・リー (1913年～1967年)

1913年11月5日インドのダージリンで、株商人の裕福な家庭に生まれた。5歳の時にロンドンの寄宿学校に入学、演技は王立演技学校で学ぶ。

1934年に映画デビュー、1937年の『無敵艦隊』のヒロインに抜擢、彼女的美貌が評判になる。この映画で共演したローレンス・オリヴィエと恋に落ち、『嵐が丘』出演のためハリウッドへ渡ったオリヴィエを追い渡米。

1939年『風と共に去りぬ』のスカレット・オハラ役を探していたプロデューサー・デビッド・O・セルズニックと出会い懇願され出演し、アカデミー主演女優賞を得る。

1951年には『欲望という名の電車』で再び主演女優賞に輝く。

しかしその間も徐々に躁うつ病に悩まされ1945年には結核で倒れるなど、輝かしい女優人生とは違い私生活では辛い日々であった。

オリヴィエと、始めはお互い伴侶がありながらの不倫の末、大恋愛し1940年結婚。

20年間生活を共にしたが1960年に離婚、その後、結核を再発させ、精神状態もすさみロンドンのアパートで息を引きとった。



2017.4.21(金)

- ① アンナ・カレニナ 11:00-12:51
- ② 美女ありき 14:00-16:04
- ③ アンナ・カレニナ 16:20-18:11
- ④ 美女ありき 18:20-20:24

※ 2作品ともデジタル上映となります。

こちらのチラシご持参で3名様まで
会員価格でご鑑賞頂けます！

阿倍野区民センター 小ホール(地下1階)

〒545-0052
大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118
● 地下鉄谷町線「阿倍野」6番出口反対側すぐ
● 阪堺上町線「阿倍野」下車徒歩2分

● 料金 (1作) ●

会員価格 800円

当日(一般) 900円

(シニア割引・障がい者割引なし)

2作品ご覧の方は **+500円**



● お問い合わせ ●

大阪映画センター TEL 06-6719-2233